

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 水島エルエヌジー株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 712-8071 倉敷市水島海岸通 4 丁目 2 番地
----	-----------------------------	----	---

本票作成	部署名：オペレーション・技術部
------	-----------------

主たる業種	分類コード	34	業種名：ガス業
-------	-------	----	---------

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・LNGの受入、貯蔵、気化およびガス送出事業（年間取扱量100万t） ・基地増設工事が完了し、平成23年4月より稼働開始
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島LNG基地	倉敷市水島海岸通 4 丁目 2 番地

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(平成 30)年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	21,442 t CO ₂	23,259 t CO ₂	18,147 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30)年度排出量
	①	水島LNG基地	23,259 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度	～	令和 元 年度	(3 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(30)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.5 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 ガス製造量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(30)年度	目標年度
		18.597 t CO ₂ /(百万NM ³)	18.879 t CO ₂ /(百万NM ³)	18.039 t CO ₂ /(百万NM ³)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成30年度は、以下の理由により削減目標を達成できなかった。
 ・エネルギー原単位の悪化
 平成30年度のエネルギー原単位は平成29年度対比100.5%であり、0.5%悪化した。
 ・単位消費電力量に対するCO₂排出量(排出係数)の増加
 平成29年度は0.000491(tCO₂/kWh)であったが、平成30年度は0.000522(tCO₂/kWh)へ増加した。
 なお、当該係数はJXTGエネルギー株式会社の数値を用いている。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している。
- ・当社はエネルギー管理を含めた運転保守管理業務をJ X T Gエネルギー(株)へ業務委託を行っている。なお、委託先であるJ X T Gエネルギー(株)は1999年にISO14001を認証取得している。
- ・関係者による省エネを目的とした会議を定期的で開催し、積極的に新アイテム発掘を行っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島LNG基地	(平成30年度実施分) ・海水ポンプのフルグライドコーティング 海水ポンプ3台(Pu-5A, B, 6A, B)をコーティングすることにより摩擦抵抗を軽減し、電動機の電気消費量で30COEKLの省エネとなった。 (今後実施予定分) ・BOG再液化設備新設 BOG再液化設備新設により、BOG昇圧圧縮機の稼働時間を削減する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--